令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４００５

プロジェクト名　サスティナブルファッションショーin 生物資源科学部

プロジェクトの概要

サスティナブルファッションを通して、環境問題の関心を深め、学部・学科の宣伝を行うことを目的に、学園祭でサスティナブルファッションショーを行った。本ファッションショーでは、テーマを生物資源科学部とし、企画者の私物やリサイクル・リユース品を活用してサスティナブルなファッションを提案した。また、SNS（Instagram）にてファッションショーの衣装や様子などを共有し、本学部の魅力や特色をより多くの人へ伝えるように取り組んだ。

プロジェクトの結果・成果

本企画では、環境問題への関心を高めると同時に、生物資源科学部の魅力や特色を多くの人々に伝えることを目的に実施した。この企画では、企画者たちの私物やリサイクル・リユース品を活用し、サスティナブルなファッションを提案することで、「環境に優しい選択」を視覚的かつ具体的に示すことに取り組んだ。また、ファッションショーで使用した衣装や当日の様子を SNS（Instagram）で発信し、自然との調和、生物資源の活用、そして未来へつなげることをテーマにファッションを通して生物資源科学部の理念を広く周知した。その結果、ショーの開催中は学園祭に訪れていた人々に鑑賞していただき、サスティナブルファッションへの興味を示していただいた。特に、リユース品を新たな形で活用したスタイリングや、生物資源科学部のテーマを取り入れたストーリー性のあるファッションに好評が得られた。Instagram では、ショーに来られなかった人やショーを見て興味を持った人に、学部の存在を強くアピールすることができ、ファッションショー後もスタイリングのアップデートを行い、引き続きその内容を共有した。SNS の利用で、手軽に多くの人に共有できると思っていたものの、思っていた以上の反響は得られず実際に多くの人に周知してもらうことの難しさを感じた。しかし、ショーに携わってくださった方々や観客の皆さまには、ファッションショーを通して大学の魅力や実際の姿を見て知っていただき、好評が得られたので大きな成果だったと感じている。そして、この企画を通して、企画者自身や協力者もサスティナブルなライフスタイルについて考える機会を得ることができた。一方で、リサイクル品の調達や制作スケジュールの管理といった課題も浮き彫りになったが、これらは今後の活動に活かせる貴重な学びと成果になった。

活動写真





